

社会福祉法人ジョイまつどジョイホーム矢切
令和6年度地域連携推進会議議事録

1 日時

令和6年12月14日（土）1150～1320の間

2 場所

ジョイホーム矢切 I 棟共有スペース

3 参加者

| | |
|----------|--------------------------|
| 利用者 | 1名 |
| 利用者の家族 | 1名 |
| 近隣の方 | 2 名（業務ため1名欠席） |
| 職員 | 2名（リーダー・世話人） |
| 進行役（管理者） | 1名 |
| 計 | 6名 |

4 当日の流れ

- (1) グループホームの運営に関する状況報告
- (2) 質疑応答
- (3) 地域活動への参加についての意見交換
- (4) 施設見学

5 構成員からの質問とその回答

問 グループホームの生活は楽しいか。

答 はい。（利用者回答）

問 寂しいことはないか。

答 特に寂しいことはない。自分で計画して実家に帰ったりしているので、バランスよくやっている。（利用者回答）

問 実家に帰れないと寂しいか

答 それは、ちょっとある。（利用者回答）

問 何かスポーツをやっているか。

答 今はやっていない。（利用者回答）

問 何か運動したいと思うか。

答 前は、スポーツクラブに通っていたが、辞めてしまった。(利用者回答)

問 辞めた理由は何か。

答 通う日と次の日が平日で、疲れて仕事で眠くなったりしたので、仕事のことを考えて辞めた。(利用者回答)

問 グループホームの生活で、どのようなことを身につけたいか。

答 一人でアパート借りて暮らせる知識とか。(利用者回答)

6 構成員からの意見・要望とその回答

意 地域の人達と多く触れ合う機会を考えると、地域の祭りへ参加してはどうか。

答 利用者が積極的に出掛けるよう、広報するとともに、単独外出が困難な利用者に対しては、外出支援を行う。

意 地域のバザーに参加してはどうか。

答 祭りでは何か出店できるかも含め、法人内で検討する。

意 福祉施設の生活は運動不足になりがちと思う。そこで、休日などに早朝ウォーキングをしながら周辺のごみ拾いをやってどうか。

答 健康維持、体力増進をしながらの地域貢献活動は非常によいアイデアと思うので、グループホーム職員内で検討する。

意 早朝ウォーキングをしながらごみ拾い活動は、近隣の我々にとってもありがたい。職員の方の負担が増えると思うが、そのような活動を通して、地域の理解や交流が進むと思うので、是非、やってもらいたい。

答 実施回数やルート等を考えた計画を立て実行したい。

意 公的機関、市議、各種ボランティア団体との関係を深めてはどうか。

答 様々な機会やチャンネルを活用し、さらに関係性を深める。

※意：構成員からの意見要望

7 構成員からの感想とその回答

感 グループホームのことはよく分からなかったが、限られた予算の中で、障害者を支援している実態がよく分かった。

答 地域の方に理解してもらうのが、本会議の目的の1つなので、次回は、もう少し地域の方を招聘し、さらに理解が進むよう努める。

感 てんかん発作がある利用者に対しても、夜間の見守りが充実しており、安心して生活できると感じた。

答 特に重篤なてんかんについては、医療機関との連携を密にして、服薬管理、規則正しく、ストレスや疲労が少ない生活環境の設定に努めている。

個別の特性や持病等については、今後もしっかりと把握し、関係先との協力を
図りながら必要な支援を行う。

※感：構成員からの感想